

あ <sup>やま</sup> い <sup>まがはら</sup> し <sup>おやまだ</sup> あ <sup>が</sup> お <sup>おやま</sup> お <sup>えの</sup> う



# 伊賀市社会福祉協議会 理事・評議員のご紹介

選出区分	選出母体または法人での役職	氏名 (敬称略)
理事	会長 常務理事・事務局 長・上野支所長	藤田 彰信 山本 政三
上野支所選出理事	副会長 事務局次長・伊賀 支所長	森口 辰則 中林 豊
伊賀支所選出理事	島ヶ原地域福祉推 進委員長	山出 勉
島ヶ原支所選出理事	島ヶ原支所長	山出 久克
阿山支所選出理事	阿山地域福祉推 進委員長	山岡 克己
阿山支所選出理事	阿山支所長	藤原 平生
大山田支所選出理事	大山田地域福祉推 進委員長	猪野 昭八
大山田支所選出理事	大山田支所長	松岡 官治
青山支所選出理事	青山地域福祉推 進委員長	若島 幹生
青山支所選出理事	青山支所長	藪根 昭義
ポランティア活動を 行う代表者	伊賀市食事サービ ス連絡会	山本 順子
社会福祉施設等の社 会福祉事業を営む る団体の役員	三重県老人福祉施 設協議会	花本 隆一
民生委員・児童委員	伊賀市民生委員児 童委員連合会	増地 豊
当事者・住民団体の 代表者	伊賀市自治会連合 会	今高 一三
行政職員	伊賀市役所	内保 博仁
学識経験者	金城大学	岡森 正吾
学識経験者		植田 信之
地域の福祉関係者		佐賀 増子
財務諸表等を監査し つる者		和田 孝一

評議員	伊賀支所選出評議員	上野支所選出評議員	島ヶ原支所選出評議員	阿山支所選出評議員	大山田支所選出評議員
伊賀市自治会連 合会上野支部	伊賀市伊賀老人 クラブ連合会	伊賀市伊賀老人 クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会阿山支部	伊賀市自治会連 合会大山田支部
北川 正一	中森 信次	中森 信次	奥西 繁	藤澤 源一	藤本 賢
上野東部民生委員 児童委員協議会	伊賀市障害者福 祉連盟伊賀支部	伊賀市障害者福 祉連盟伊賀支部	島ヶ原ポランティ ア連絡協議会	阿山心身障害児 (者)保護者会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
森本美奈子	界外 平一	界外 平一	川村 治延	池田 純之	山川 公郎
伊賀市母子寡婦 福祉会	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	島ヶ原地区民生委 員児童委員協議会	阿山地区民生委員 児童委員協議会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
池側よし子	福永 一彌	福永 一彌	島ヶ原地区民生委 員児童委員協議会	阿山地区民生委員 児童委員協議会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
まちづくりセン ターウィリアム・ テルズアップル	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
中盛 汀	福永 一彌	福永 一彌	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
岡島 正尚	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部

大山田支所選出評議員	青山支所選出評議員	伊賀支所選出評議員	阿山支所選出評議員	島ヶ原支所選出評議員	その他の(学識経験者)
大山田ポランティ ア連絡協議会	伊賀市自治会連 合会青山支部	伊賀市自治会連 合会阿山支部	伊賀市自治会連 合会阿山支部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
中井 末弘	勝木 治	勝木 治	藤澤 源一	奥西 繁	山川 公郎
大山田地区民生委 員児童委員協議会	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
吉岡 滋	榎本 宏	榎本 宏	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
伊賀市自治会連 合会青山支部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
福井 昌美	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
伊賀市自治会連 合会青山支部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
中山 重信	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
前川 款昭	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
川上 善幸	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
北出 富三	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
伊賀北部農協	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
吉住 邦男	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
水谷 久	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
伊賀市民生委員 児童委員連合会	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
神田 信忠	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
森岡 幸一	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
山崎 敏正	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
長谷川正俊	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
松山 浩之	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
前川 完一	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部
岩田 佐俊	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原支 部	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市島ヶ原老 人クラブ連合会	伊賀市自治会連 合会大山田支部

# 地域福祉計画による小地域活動の推進

平成の大合併のもと、数多くの市町村が合併してきたが、福祉関係者からは「合併してよかった」という声がなかなか聞こえてこない。むしろ、合併したこととサービスが低下したという報告のほうが多い。地域福祉の側面からすれば、それは当たり前のことといえる。つまり、合併とは「大きくなること」であって、より身近な地域で支え合うために「小さくしていく」ベクトルとは正反対の指向性をもつからである。

合併は、単に地域福祉だけが目的ではない。各自治体間のそれぞれの事情を含め、多様な視点からの選択の結果である。とはいえ、合併によって福祉サービスの質を低下させてはならない。そのためには、現状を維持するための施策、さらには合併したスケールメリットを活かして、以前よりもよくなるシステムを構築していくしかない。

## 市町村合併に伴う伊賀市の対応

伊賀市の取り組みからは、参考にすべき点が数多くある。まず、合併前から合併後の社協のあり方を市民参加によって「あいしあおう構想」を策定してきたこと。各社協組織間の合意形成さえも大変な合併協議に加え、市民参加による検討を行ったこと。その成果と従来の社協の実績が、地域福祉計画を策定していく時の基盤となり、合併したばかりの行政組織との協働がスムーズに行われた要因の1つになった。

伊賀市の地域福祉計画の大きな特徴は、「住み慣れた地域で暮らし続ける」システムをつくることであった。効率性を求め、合理化だけを優先した合併は、結果として市の中心部は栄えても、周辺の集落は崩壊していくことがある。そうならないように、市内のどこに住んでいても、安心できる福祉サービスの仕組みをつくること。そのために市を5層に構造化し、その第

3層に福祉区を設定した。またそれに対応する総合相談支援の体系化を試みている。

## 住民自治協議会を単位とした計画づくり

これらの活動基盤は、住民自治協議会という自治組織である。これは本文にあるように、自治基本条例に基づき新しいコミュニティ組織である。旧市町村を支援単位として、そこに権限をもたせる地域は多いが、さらに、住民に身近な小学校区を単位に地域内分権を図っていることが特徴である。

その仕掛けとして、「地域まちづくり計画」を導入している。住民が自ら地域の将来をデザインして行動を起こしていくこと。それを、行政や社協が支援していく仕組みにしている。この小地域活動に、伊賀市社協は全面的に取り組んでいる。伊賀市は旧上野市が人口6万、そこに5町村が合併したのだが、旧市町村単位では異なる規模を、小学校区という住民に身近な単位で組織化を図り、ここを基盤に、地域福祉を推進する構想である。これにより、旧上野市の住民にとってよりきめ細かな福祉サービスを受けられることとなり、旧5町村の住民にとっては従来のまちをより活性化していくことができるという、大変、よく考えられた住民自治の仕掛けである。

こうした小地域を基盤とした地域福祉計画としては、都城市（宮崎県）や松江市（島根県）などがあるが、伊賀市は地域への権限と範囲とを条例によって位置づけ、これを福祉を含めた地域づくり全体に反映している点が特徴である。

## 市全体で小地域活動を推進するために

伊賀市では合併直後に始まった市総合計画の整合性を図りながら、同時期に地域福祉計画を策定してきた。伊賀市の将来ビジョンに基づく具体的な現れの1

伊賀市地域福祉計画策定委員長  
日本福祉大学社会福祉学部助教  
原 田 正 樹

つが地域福祉であり、市における社会福祉に関する基盤計画として位置づけられたことも地域福祉の蓄積があったからである。周知のように伊賀市社協は「プラットフォームシステム」の発祥の地であり、また以前から福祉教育や市民活動が盛んなところであった。最近では、権利擁護として悪徳商法被害への対応にも全国に先駆けて力を入れている。こうした住民ニーズをもとにした数々の実践が社協への信頼となり、合併直後の大変な時期にこのような取り組みができてきたのである。

今後の大きな課題としては、小地域を単位とした活動の推進には、一方で地域間格差が生じてくる。これをどう調整し、支援していくかが社協の力量を問われることになる。また総合相談支援のシステムを体系的に機能させていくことも重要な取り組みである。

（出典：月刊福祉8月号クローズアップ社協活動）



# マルチ商法

## 悪徳商法に注意!!

マルチ商法（連鎖販売取引）とは、加入者が他の人を次々と組織に参加させ、ピラミッド式に販売組織を拡大させていくような商法のことです。ネットワークビジネス・マルチレベルマーケティング（MLM）と呼ばれる場合もあります。勧誘時には、マルチ商法であることを告げず、「いい商品があるので紹介したい」「いい話があるんだけど」などと切り出し、実演会や説明会に呼び出し、言葉巧みに契約を締結させるケースが多いようです。

また、自宅や喫茶店等で長時間に渡って、しつこく勧誘され、根負けして契約をしてしまつようなケースもあります。友人や親戚から勧誘され、仕方なく契約してしまつた相談事例も見られます。マルチ商法の対象となる商品は、調理器具・浄水器・健康食品・化粧品・宝石など様々です。

マルチ商法の被害にあった人の中には、金銭的な被害だけでなく、親族・友人・知人・会社の同僚などの勧誘に応じた結果、人間関係が壊れてしまったという人もいます。この商法の問題点となるのが、知り合いかからの勧誘で断りにくいということです。

**マルチ商法で失う物はお金だけではありません。気が付いたときには友人を失い、借金が残るのみです。**



### 相談事例

**鍋の「実演販売」で勧められ、契約・購入してしまった。**

90才代の女性宅にケアマネジャーが訪問したところ、梱包された段ボール箱を見つけた。本人に確認すると、中身は10万円以上もする鍋のセットで、使わないので不要とのことだった。そもそも、鍋の実演販売で親戚に勧められて購入したとのこと。本人としては、親戚からの勧めということもあり、断りにくく契約・購入してしまった。

### 対応

本人は、日に2食の配食サービスを利用しており、鍋を使うことはめつたにない。商品を購入してから数日しか経っておらず、本人も不必要とのことなので、クーリングオフを実施する。商品については、着払いにて業者に返送。後日、業者より、代金が返金された。



### 契約をしてしまったときは…

契約して契約書が渡され日、あるいは商品が手元に届いた日のどちらか、遅い方から起算して（届いた日を含めて）、20日以内であればクーリング・オフができます。 ※商品や販売方法により、クーリング・オフ期間が異なるので、注意が必要です。 この場合は、無条件で解約となるため、支払った代金は返金されます。また、商品の引き取りは業者の負担となります。

### マルチ商法の被害を防ぐためには…

1 自分一人で決めず、家族、友人や社会福祉協議会等に相談しましょう。

2 考える時間も与えずに契約を強制してくるような場合は、相手が親しい友人でも、はっきりと断る勇気を持ちましょう。

3 話がうますぎたり、わかりにくい場合は、深入りせず早めに断りましょう。

ご相談は…

伊賀市社会福祉協議会  
在宅介護支援センターふれあい  
伊賀市上野中町2976-1上野ふれあいプラザ3階  
☎ 21-1112 / FAX 26-0002  
E-mail k-zaikai2@hanzou.or.jp

このチラシは、国庫補助事業「未来志向研究プロジェクト」の一環として作成しました。

毎日の介護、お疲れさまです。  
 日々の介護に疲れて体調を崩したり、  
 少しのことでイライラしていませんか？  
 そこで、伊賀市社会福祉協議会では、介護者同士が出会い、  
 日頃の介護をねぎらいながら悩みや辛さを分かち合うことで、  
 元気になって、お家に帰っていただこうと、  
 名張市社会福祉協議会と合同で1泊旅行を企画しました。  
 ほんのひとときでも介護から離れ、ちょっと一息つきませんか。  
 皆様の参加を心よりお待ちしております。

# ちょっと一息つきませんか・・・

■期 日 平成19年1月19日〔金〕～20日〔土〕

■行き先 洲本温泉（宿泊先／ホテルニューアワジ 兵庫県洲本市茂江海岸 ☎0799-23-2200）

◇1月19日〔金〕

10：00頃 集合・出発  
 12：00～ 昼食〔神戸市内〕  
 見学  
 15：00～ 宿舎到着・懇談会  
 17：30～ 入浴・夕食等

◇1月20日〔土〕

9：00頃 宿舎出発  
 見学（大鳴門橋記念館等）・買い物  
 昼食  
 15：30頃 伊賀市内各地 到着・解散

※日程は予定です。当日の天候や交通事情等により、やむをえず変更する場合がございますので、ご了承ください。

■対象者 市内在住で、現に在宅で高齢者を介護している家族等  
 （介護保険の認定の有無、被介護者との続柄等は問いません。）

■費 用 お一人様 10,000円（当日徴収します。）

■申 込 申請書類に必要事項をご記入の上、12月15日（金）までに伊賀市社協各支所までお申し込みください。  
 申請書類は各支所にあります。 ※前日のお昼以降のキャンセルは、キャンセル料が発生します。

■申込・問い合わせ先

社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

上野支所	／伊賀市中町 2976-1 上野ふれあいプラザ3階	☎21-5866
伊賀支所	／伊賀市愛田 513 いがまち保健福祉センター 愛の里	☎45-1012
島ヶ原支所	／伊賀市島ヶ原 4743 島ヶ原老人福祉センター 清流	☎59-3132
阿山支所	／伊賀市馬場 1128-1 阿山保健福祉センター	☎43-1854
大山田支所	／伊賀市平田 656 大山田福祉センター	☎47-0780
青山支所	／伊賀市阿保 1988-1 青山福祉センター	☎52-2999

# あいらし通信

## 支所

### 第6回あやまちチャリティー ゴルフ大会参加者募集

【主催】伊賀市社会福祉協議会阿山支所  
【協賛】阿山カンツリー株式会社

【開催日】11月16日(木)

【開催場所】阿山カンツリー倶楽部

【参加費】10,000円(セルフ税込)

【プレー費・昼食・3ドリンク代・賞品代・パーティー代(軽食飲料)・参加賞代含む】

【参加定員】30組120名

【表彰式】プレー終了後、パーティー形式(軽食付き)で表彰式を行います。

【チャリティー】チャリティーホール(5番・17番)でワンオンしなければ、ご寄付500円をお願いいたします。(任意)

※その他詳細はお問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】

伊賀市社協阿山支所

☎43-11854 FAX43-11577

メール aya-vac@hanzou.or.jp

阿山カンツリー倶楽部予約係

☎43-11444 FAX43-11644

【締切日】11月9日(木)



### 障害者パソコン教室追加募集

現在、伊賀支所で開催している「障害者パソコン教室」の受講生を追加募集します。初めてパソコンに触れる方、技術の向上を目指す方など、レベルに合わせた指導で、社会参加を支援します。

【場所】いがまち保健福祉センター  
ボランテア室

【募集人員】初級・中級 各4名程度  
(定員を超える場合は、審査・抽選)

【対象者】障害者手帳(身体・精神・知的)をお持ちの市内在住の方(等級は問いません。)

※会場までは各自でお越しください。

【受講料】1回300円

【開催日時】11月～1月の毎週水曜日  
(初級)10時～12時(中級)13時～15時

※年末・年始等は休講となります。

【申込締切】10月27日(金)

【申込・問い合わせ先】担当：中川

伊賀市社協伊賀支所 ☎45-11013

### 家族介護教室のご案内

伊賀支所では、在宅で高齢者を介護されている方を対象に「家族介護教室」を開催することとなりました。ぜひご参加ください。

【日時】11月4日(土)

13時30分～15時30分

【場所】いがまち保健福祉センター  
研修室

【内容】「高齢者の栄養管理～いつまでも楽しく食事ができるよ～」

◆栄養バランスの良い食事

◆高齢者の食べやすい食品・食べにくい食品

## 赤い羽根共同募金



今年も10月1日から60年目を迎えた「赤い羽根共同募金運動」がスタートしました。12月31日までの間、個別募金、特別募金、学校募金、街頭募金、法人募金、職域募金等の様々な方法で募金を集めさせていただきます。

寄せられました募金は、民間社会福祉施設、団体等に配分され、施設の整備、あるいは地域での在宅福祉事業、児童、一人親家庭、障がい者、寝たきり介護等の活動に大きな役割を果たしていただいております。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域社会作りの実現のため、多くの方々のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら伊賀市社協各支所内、三重県共同募金会伊賀市支会各分会までご連絡ください。



### 障がい児サロン「ぱれっと」参加者募集

◆「介護食」の試食  
【講師】深田丘子氏(管理栄養士)  
【対象者】伊賀市在住の在宅で高齢者を介護されている方・その他関心のある方  
【参加費】無料  
【申込・問い合わせ先】開催前日までに、伊賀市社協伊賀支所(☎45-11013)までお申し込みください。

上野支所では、障がいのある子どもたちの余暇活動の充実と地域の交流の場として、障がいのある子どもたちのふれあい・いきいきサロン「ぱれっと」を実施しています。運営は、親御さんの他、学生ボランティアや主任児童委員などの協力を得て行っています。

本年度は、市内の散策や簡単な食事も、ふるさと森でのバーベキュー、



四季のさつまで電車に乗る体験や遠足などを行いました。また、夏休みも毎週1日フリースペースを設けるなど、様々な活動を行っています。ぱれっとでは、参加者・協力者を募集しています。

【対象者】上野支所管内の、障がいのある学齢期の子どもとその親

【日時】毎月第一土曜日午後1時30分～

【場所】上野ふれあいプラザ他

【会費】年会費1,000円(保険含む) 活動に必要な経費

【申込・問い合わせ先】

伊賀市社協上野支所 担当：船見

☎21-58860

# ボランティア・市民活動NEWS

## 伊賀子ども自然体験塾「秋」

### 大昔の焼き物体験

大昔、人間が土を火で焼いて器を作り、食文化を高めていった取り組みを子どもたちが実際に体験します。

#### 【日程】

【1日目】土ひねり体験

【日時】10月21日(土) 9時30分～15時

【場所】岡鼻の家

「伊賀市柘植岡鼻4614」

地域「アイサービスセンター」岡鼻の隣

〈持ち物〉弁当・水筒・汚れてもよい服・手ききタオル

【2日目】野焼き体験(雨天延期)

【日時】12月3日(日) 9時30分～15時

【場所】奈良市月ヶ瀬の里山

〈持ち物〉弁当・水筒・軍手・綿の服・手ききタオル

【参加対象】小学生 定員130名

(大人や中高生もボランティアとして参加可能です)

【参加費】2日分で一人3000円(保険代込み、幼児無料、但し保護者同伴)

(申込・問い合わせ先)

伊賀子ども自然体験塾事務局

〒健康治方

☎45-20092

※この事業は、平成18年度子どもゆめ基金の助成を受けて実施しています。



## ふれあい・いきいきサロン サポーター養成講座報告

伊賀市社協では、8月・9月にふれあい・いきいきサロンサポーター養成講座(4回講座見学)を開催しました。講座では、毎回約70名の参加者があり、サロン事業とサポーターの役割、音楽療法・3B体操・園芸福祉などの介護予防事業の体験、様々なレクリエーションやアレンジ、実施団体からの活動紹介や講演などを行いました。

サロン活動は、近年住民自治協議会の福祉部会や自治会等、身近な地域の仲間づくりの取り組みとして注目され、市内では160か所以上で実施されています。

サロン活動を通して、地域のつながりが深まり、介護予防や高齢者等を狙って蔓延している悪徳商法の撃退、災害時に助け合える、世代間交流で地域で子どもを育て合えるなど、様々な効果が期待できます。

伊賀市社協では、地域住民が日常的に支え合う地域づくりのきっかけづくりとして、今後もサロン活動を支援してまいります。

サロン立ち上げについては、社協各支所までお問い合わせください。



## ひまわり作業所保護者会 第19回チャリティーバザー

【日時】11月26日(日) 10時～15時

【場所】伊賀市立上野東小学校体育館

【内容】不用品バザー・模擬店・作業所製品販売(パン・組みひも・小物等)

【バザー用品集めています!】

「ご家庭で不要になった品物(贈答品や食品等)、野菜やお花等を集めています。取りに伺いますのでご連絡ください。」

【問い合わせ先】上野ひまわり作業所

伊賀市予野9554

☎39-1133

FAX 39-1132

## 大山田ボランティア連絡協議会バザー用品募集

大山田ボランティア連絡協議会では、11月5日(日)大山田海洋センター駐車場内で開催されます収穫まつりにてチャリティーバザーを行います。ご家庭で眠っている日用品、雑貨、食品(賞味期限内のもの)等、一品でも結構ですので、出品のご協力をお願いします。

なお、チャリティーバザーで集まったお金は、大山田ボランティア連絡協議会及び伊賀市社協大山田支所を通じて地域福祉事業に有効に活用させていただきます。

【受入期間】10月23日(月)～10月30日(月) 9時～17時

【受入場所】伊賀市社協大山田支所

## あやま福祉講演会

笑っている顔のしわ、歯が見える。泣いている顔、涙が見える。そんな距離、空気がいい。感性が毛穴からしみ込んでいく。そんな時、誰もが今の自分と向き合っている。「もう一人の自分」と出会って帰る・・・そんな福祉講演会を開催いたします。

【日時】11月11日(土) 14時～15時30分

【場所】阿山保健福祉センター ホール

【内容】演題「優しさの種をあなたの心にとどけます」

講師：シンガーソングライター 小西 達也 氏



【対象者】どなたでも参加できます。

【入場料】無料 ※事前申込は不要です。

【問い合わせ先】伊賀市社協阿山支所 ☎43-1854

## 数字で見る伊賀市の福祉

平成18年8月31日現在(前月比)

伊賀市の人口	102,949人(-48人)	※集計処理の関係で前々月末日時点の数値です。 ※伊賀市の人口は外国人登録者を含めた数です。 ※65歳以上の高齢者及び高齢化率には外国人登録者も含まれています。 ※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。 ※ボランティア活動保険加入者数は平成18年4月1日以降の加入者延人数です。 ※ホームページアクセス数は、カウンタ数値ではなく1ヶ月間の訪問者実数を解析し掲載しています。
65歳以上の高齢者	25,785人(+64人)	
高齢化率	25.0%(+0.0%)	
介護保険認定者数(施設・在宅)	5,502人(+17人)	
ボランティア活動保険加入者数	2,098人(+27人)	
ホームページアクセス数	19,226(+61)	

## あなたのまちのふれあい・いきいきサロン (11)

### 桐ヶ丘いきいきサロンあじさい会



【メンバー数】 22名  
 【開催場所】 桐ヶ丘第1集会所  
 【開催頻度】 月1回(第2金曜日)

桐ヶ丘いきいきサロンあじさい会は、平成15年に桐ヶ丘地区で初めて発足したサロンです。桐ヶ丘は1丁目から8丁目まであり、その内、5丁目から8丁目地区の方を対象に毎月第2金曜の午後で開催しています。

桜が咲く季節は、みんなで近くの公園にお花見に出かけたり、地域の文化祭に向けて手芸品を作ったり、音楽療法やカラオケなど、参加者やスタッフと毎回相談しながら進めています。

この日は、青山保健センターの保健師から、不用になったカレンダーや新聞紙を使ったレクリエーションを教えてもらいました。2チームに分かれ、無造作にカレンダーを10枚になるよう切断したものを、相手チームと交換し、パズルをし、完成までのタイムを競うゲームや、スティックやボールを紙で作し、カレンダーの裏面に的を書き、スティックでボールを打ち、的に近づけるゲーム等でした。大掛かりなレクリエーション用具を借用しなくても、身近にあるものを使って充分レクリエーションが楽しめる点で大変勉強になりました。これからも参加者の皆さんが楽しんでくれるプログラムを企画していきたいと思ひます。

### ●活動を始めたきっかけ

森のアトリエは、2002年5月、伊賀市阿山ハイイツのはずれにある山間にオープンしました。障がいのある人がとことんやりたいことがやれる場所。居場所を見出せない子どもたちが、何かしたいことを探しに来たり、誰にも遠慮せず思う存分やれる場所。子どもたちが本をじっくり読んだり、ものを作ったり、野山で遊んだりできる場所。やってきた人たちが、その場にいるだけかと交流できる場所。・そんな場所を作りたいという当初の思いを実現する形で、造形活動の支援・ステージの表現活動の支援・子ども図書館や自然遊びの場を無料で提供しています。

### ●活動内容

原則毎週土曜日に「ART ON (造形活動支援)」をしています。予約制でスタジオも使っています。夏・冬休みには、「ART ON たまごクラブ」を開催し、障がいのある子・きょうだい・お友だちの遊び場にもなります。小学生から80代の方まで、幅広くさまざまな方のあたたかい居場所となっているのが、わたしたちスタッフの幸せです。

《お問い合わせ先》森のアトリエ ☎43-0755



岡中 克史さん  
 阿山在住(41歳)  
 森のアトリエ代表

我  
う  
ー  
ふ  
く  
し  
レ  
シ  
ン  
ジ  
ャ  
ー

No.19

**編集後記**  
 今回の表紙写真は、おそらく昨年に撮影された稲刈り後の田んぼに舞い降りた白鷺のつがいのショットです。カメラの腕前も相当上手な方からの投稿です。伊賀市社協ではプロ・アマ問わず、年中投稿を受け付けていますので奮ってご応募ください。

編集・発行



社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

本所(上野支所) 〒518-0869  
 伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階  
 TEL:0595(21)5866/FAX:0595(26)0002  
 E-mail:info@hanzou.or.jp(本所) ueno@hanzou.or.jp(上野支所)

伊賀支所 〒519-1413  
 伊賀市愛田513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」  
 TEL:0595(45)1012/FAX:0595(45)1050  
 E-mail:iga@hanzou.or.jp

島ヶ原支所 〒519-1711  
 伊賀市島ヶ原4743番地 島ヶ原老人福祉センター「清流」  
 TEL:0595(59)3132/FAX:0595(59)3145  
 E-mail:shimagahara@hanzou.or.jp

阿山支所 〒518-1313  
 伊賀市馬場1128番地の1 阿山保健福祉センター  
 TEL:0595(43)1854/FAX:0595(43)1577  
 E-mail:ayama@hanzou.or.jp

大田支所 〒518-1422  
 伊賀市平田656番地の1 大田福祉センター  
 TEL:0595(47)0780/FAX:0595(46)1165  
 E-mail:ooyamada@hanzou.or.jp

青山支所 〒518-0226  
 伊賀市阿保1988の1番地 青山福祉センター  
 TEL:0595(52)2999/FAX:0595(52)3555  
 E-mail:aoyama@hanzou.or.jp

○伊賀市社会福祉協議会ホームページ○ <http://www.hanzou.or.jp/>